

太宰府中学校3学年だより

No.5

R4. 5. 18

文責：3年学年主任

それぞれが**無限の可能性**に翔けて **限界突破**した体育祭でした

ブロック	総合優勝 2位 3位	青ブロック(3年2組) 赤ブロック(3年3組) 黄ブロック(3年1組)
テーマ旗	最優秀賞	青ブロック
ブロックパフォーマンス	最優秀賞	青ブロック



例年になく梅雨の訪れが早い中、また、コロナ禍の中ではありましたが、保護者の方、地域・来賓の方の見守る中、皆さんにとって中学校生活最後の第44回太宰府中学校体育祭が行われました。

今年のスローガンは「限界突破 ～無限の可能性に翔る～」。2年ぶりに行われる体育祭を成功させようという目標に向かって、それぞれの良さを持ち味を活かし、皆で力を合わせて太宰府中に新たな歴史を刻もうという意を表しています。

約10日間の練習では、ブロックを中心とした種目練習・ラジオ体操・パ

フォーマンス練習を中心に行われました。皆さんが、最高学年としてどこま

で後輩を引っ張っていけるか、3年の先生たちは不安と期待を織り交ぜな

がら、皆さんの様子を見守っていました。

特に、パフォーマンス練習は、思うように演技が進まず、ブロックリーダーたちはあせるばかりでした。実行委員長とブロック長は、練習後の会議で先生たちから厳しいことを言われ、翌日も計画どおりにできずまた言われ続ける厳しい日々が連日続きました。

しかし、彼らはたとえ毎日言われても、誰よりも早くグラウンドに出て仲間に大声で指示していました。彼らが諦めずにねばり強く頑張る姿に、周りの意識もだんだん変わって、ブロックの「群れ」が「集団」に変わっていきました。



ブロックパフォーマンスは、ぎりぎりになっても完成せず、次々と演技構成を変えていく様子を見て、どうなるだろうと思っていましたが、本番でどのブロックも見事に完成させることができました。最後の最後になって、本番で完成できたのは、これまでの厳しい現実にもあきらめずに頑張ったからこそできたことです。

その見事な姿に、多くの先生や来賓の方から「2年間体育祭を全く経験していない中で、3年生はよくぞここまで頑張ってくれました。本当に感動しました。」「この2年間で3年生は大きく成長しましたね」とたくさんのお褒めの言葉をいただきました。

ブロックパフォーマンスだけでなく、個人種目や学年種目のオールスターレーでも、最後まであきらめずに走る姿、また、その姿に声援を送る仲間の姿、さらに体育祭にかける思いが込められたテーマ旗...

どれをとってもクラスや学年、ブロックが、枠を越えて1つにまとまった様子を感じることができました。

閉会式で、汗まみれになっているみなさんの顔には、これまでとは違う、達成感に溢れ、自信にみなぎった顔でした。

うれしさに満ちあふれた顔、涙でぐしゃぐしゃになった顔、放心しきった顔...3年生全員の顔はみな違っていましたが、思いはただ一つ「皆でがんばってよかった」「皆で一生懸命頑張ることは、こんなに格好いいんだ」という心だと思います。

中学校生活最後の体育祭は終わりました。皆さんが卒業して進む進路先には、体育祭がない学校もあるかもしれません。そうすると、この体育祭が人生にとって本当に最後の体育祭になる人もいるでしょう。

改めて振り返ってみて、皆さんの心にはどんなことが残っていますか。おそらくどんな場面を振り返っても、自分や友達が必死で頑張る姿ばかりだと思います。皆さんが心に輝かせた太中魂は、きっと2年生の後輩がしっかり受け継ぎ、新たな伝統を作り上げることでしょ。

最後に、この体育祭が成功した陰には、皆さんの体操服を毎日洗濯し、お弁当を作って健康に気をつけて下さったお家の方、体育祭で事故やトラブルがないように校内を見守って下さったPTA役員の方や地域の方など、数え切れない人々の支えがあったからこそできたことです。

皆さんの頑張りはもちろんのこと、みなさんをフォローして下さった人々に感謝の気持ちを忘れずに、よき思い出として心のノートに刻んでほしいと思います。



★体育祭は終わりではなく「新たな始まり」です。

体育祭は終わりましたが、それは、新たな始まりでもあります。3年生の皆さんは、体育祭で得たことを日頃の学校生活にどこまで継続して生かせるか、その姿が注目されています。

体育祭では、競技に一生懸命頑張ること以外にも、いろいろなことを学びました。

「忘れ物をしないこと・時間を守ること・服装を整えること・人の話を聴くこと」など、学校生活の基本中の基本を学んだはずで。

日頃の自分の姿はどうでしたか。「忘れ物をせず」「時間を守って」「授業に集中」した当たり前の生活を過ごすことができたでしょうか。

体育祭の行事そのものは成功しましたが、その後、体育祭で得たモチベーションをどこまで維持できるかが、本当の意味での成功だと思います。

次の大きな目標は「中学校生活最後の中体連・コンクール」です。今度は学校対抗で競い合う行事です。他の中学校も着々と準備していることでしょう。時間が限られた中でどれだけ練習して力をつけていけるかが勝利のカギになることでしょう。

体育祭では3つのブロックに分かれましたが、中体連・コンクールでは「太宰府中学校ブロック」として競います。皆さんが体育祭で見せた「打たれても諦めない」強さ、そして「皆でやらなければならないことはやる、守らなければいけないことは守る」強さ、そして「皆で頑張ることは楽しい」「一生懸命は格好いい」素晴らしさをこれからも発信し続けて、さらに成長する姿を期待しています。

保護者の皆様

子どもたちにとっての中学校生活最後の体育祭が終わりました。練習期間中は体操服の洗濯やお子様の健康管理などで大変だったことと思います。また、PTA役員の皆様におかれましては、校内巡視や広報写真撮影等にご協力いただきありがとうございました。

体育祭を通して、子どもたちは大変立派に成長しました。今後は、この成長があらゆる場面でさらに高まるよう、継続して指導して参りたいと思います。

今後とも温かいご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

